



熊本 和夫  
(自民党)

**LRT事業  
全国初の信用乗車  
方式導入を**

**問** LRTについて聞く。  
LRTの速達性と定時性を向上させるためには駅での停車時間の短縮が課題であり、乗車方式を検討し解決を図るべきと考える。

ヨーロッパ各国で採用している信用乗車方式は、車内での精算などがないことにより、定時性や速達性の向上に大変有効である。  
国内の導入事例はなく、全線新規路線の本市だからこそ挑戦できる乗車方式であり、導入に向け取り組むべきと考えるがどうか。

**答** 信用乗車方式は、駅員や乗務員による運賃の

收受などを省略でき、すべての扉からスムーズに乗降できることから、利便性や速達性の向上が図られる方式である。そのため、本市が国内最大規模となる30メートル級車両でのワンマン運転を目指すうえで、サービス面や運行面において大変有効であると考ええる。

確実な運賃收受や現金利用者などへの対応など、課題もあることから、芳賀町や宇都宮ライトレール株式会社、宇都宮ICカード導入検討協議会と連携を図り、「宇都宮式信用乗車」の実現に向け検討を進めていく。

現に向け検討を進めていく。



▲ヨーロッパのLRT

**その他の質問項目**

- ①市長選挙への対応②社会状況の変化に対応した都市計画制度の運用③一条中学校用途廃止予定地の活用④駅東口地区整備事業⑤待機児童解消に向けた緊急対策等への対応⑥ジャパンカップサイクルロードレース⑦児童相談所



岡本 芳明  
(自民クラブ)

**人口が急増する  
清原地区に新たな  
小学校建設を**

**問** テクノポリスセンター地区の公益施設用地の活用について聞く。

①日増しに発展し、人口が増えている当該地区では児童数も急増している。

地域住民からも要望が出されている新たな小学校の建設が必要と思うが、どう考えるか。  
②人口増加に見合った地域住民の交流スペースも必要であると思うが、施設用地として活用できないか。

**答** ①当該地区の指定校である清原中央小学校の児童数は今後も急激な増加が見込まれ、学校規模が二倍近くに拡大する状

況にあり、適正規模化を図る必要があることから、小学校を新設する方針を固めた。  
今後は、教育委員会で

正式決定後、通学区域の設定や学校施設の整備方針の策定など小学校建設に向けた必要な手続きをスピード感を持って進めていく。

②現時点では小学校用地として活用することを優先的に考えているが、今後、学校施設の規模や配置など具体的な検討を進めていくなかで、地域活動にも活用できる用地や機能について、併せて検討していく。



**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢（市政の総括と今後のまちづくりへの決意）②農業政策（特色ある米づくり、宇都宮産農産物の輸出促進ほか）③J R宇都宮駅東側における公共交通ネットワーク④鬼怒川サイクリングロードの活用⑤天棚など地域の文化遺産の保存活用



山本 正人  
(市民連合)

**渋滞解消とLRT  
十分な市民理解の  
方策は**

**問** 公共交通とLRTについて聞く。

①公共交通を大事にするという市の方針があるが、公共交通衰退の大きな原因と考えられる家用車の普及に伴う市内の渋滞緩和策について、どのような解決策が検討されているのか。

②LRTの導入について、市民が十分理解できるための説明が不足しているのではないか。

**答** ①これまで道路ネットワークの計画的な整備などのほか、バスネットワークの維持・拡充と併せ、公共交通の利用促進を図るなど道路整備と公共交通の充実を一体的に

進めてきた。

引き続きこれらの取り組みを進めるとともに、輸送力に優れたLRTを導入し、効率的で利便性の高い交通ネットワークを構築し、円滑な交通の確保に取り組む。

②LRTについては、正確かつ最新の情報を説明し、直接、意見交換を行い質問などに答える双方向での取り組みが、より一層の理解促進につながるものと考え、これまでオープンハウスや説明会などに取り組んできた。

こうした取り組みにおいては、図やグラフによる情報提供、映像などを活用し、説明してきたところであり、引き続きパース画などを用いて、より分かりやすい市民説明に取り組んでいく。

**その他の質問項目**

- ①食品ロス削減②地域医療③安全・安心な食材④太陽光発電装置の修繕補助⑤市内に在住する外国人の生活環境⑥川の駅⑦つつのみやの観光